

## H10-2-2 帯域保証型VC接続ATMインタフェース

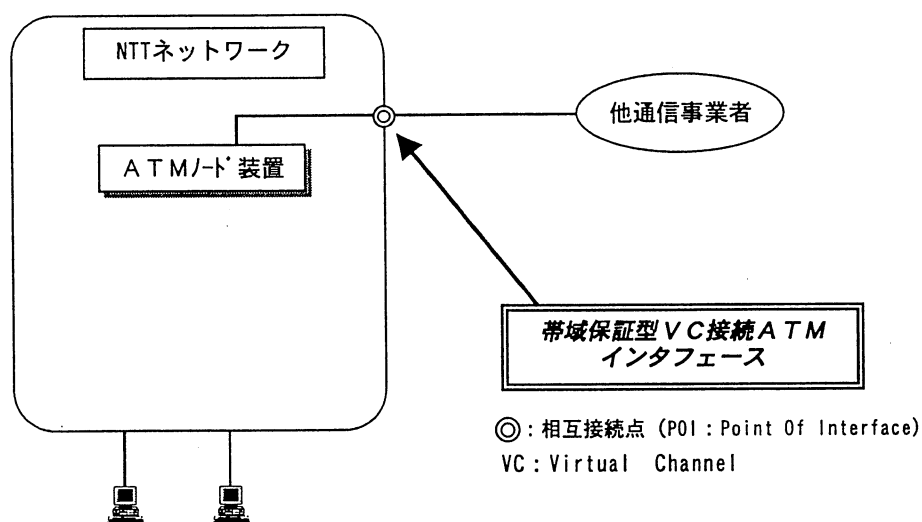
### 【本資料活用上の留意点】

1. 本資料では、NTT網との接続に関するインタフェース条件について、概略を記述しています。
2. 今回開示するインタフェースの詳細について、調査用資料を発行いたします。入手方法等については、NTT情報ステーション（TEL0120-1882200）にて揭示、ご案内いたします。
3. 今回開示を行ったインタフェース条件は、相互接続をした場合にはNTT接続約款の技術的条件集に掲載されます。

### 1. 機能概要

ATM方式において、帯域を保証したVCで接続するインタフェースです。

#### <接続イメージ>



### 2. インタフェース機能

帯域保証型VC接続ATMインタフェースで規定する範囲は、156Mbit/s、622Mbit/sの速度を提供するレイヤ1までとなります。

#### 2.1 物理レイヤ

物理レイヤは、物理媒体サブレイヤと伝送コンバージェンスサブレイヤに分けて規定します。

## 2. 1. 1 物理的媒体サブレイヤ

### (1) 光ファイバケーブル

光ファイバケーブルは、SM型光ファイバケーブルを適用します。なお、SM型光ファイバケーブルは JIS C6835 SSMA-9.5/125 相当もしくは JIS C6835 SSMB-8/125 相当の光ファイバ素線を適用します。

### (2) コネクタ

コネクタは、JIS規格 C 5973 準拠の SC-PS 形接続プラグを使用します。

### (3) 光パラメータ条件

光パラメータ条件は、伝送装置間インタフェース（新 SDH インタフェース）もしくは NTT 接続約款技術的条件集別表 6（伝送装置間インタフェース仕様）の 156Mbit/s、622Mbit/s の規定を適用します。

## 2. 1. 2 伝送コンバージェンスサブレイヤ

### (1) 同期デジタルハイアラークの NNI

同期デジタルハイアラークの NNI は、TTC 標準 JT-G707 に準拠した 156Mbit/s、622Mbit/s の規定を適用します。

### (2) 伝送コンバージェンスサブレイヤ仕様

伝送コンバージェンスサブレイヤ仕様は、TTC 標準 JT-I432.1、I432.2 に準拠している 156Mbit/s、622Mbit/s の機能を適用します。

## 2. 2 ATMレイヤ

### (1) ATM機能特性

ATM機能特性は、TTC 標準 JT-I150 に準拠した ATM機能を規定します。

### (2) ATMレイヤ仕様

TTC 標準 JT-I361 に準拠した VCレベルまでの ATMレイヤ機能を規定します。

### (3) OAM原則と機能

ATMレイヤ仕様は、TTC 標準 JT-I610 に準拠した VCレベルまでの OAM (Operation Administration And Maintenance) 原則と機能を規定します。

### (4) トラヒック制御

トラヒック制御は、TTC 標準 JT-I371 に準拠した PCR (Peak Cell Rate)、CDVT (Cell Delay Variation Tolerance) を規定します。